

## ●拠点地域再生事業

**議員** 南大浦地区拠点地域再生事業について伺いたい。

**まちづくり部長** 南大浦地区の道路整備や老朽建築物の建て替え促進を図り、地区の活性化に向けて、南大浦地区拠点地域再生事業に取り組んでいる。

今後、地元住民と協議しながら、道路や共同住宅の建て替え計画や権利変換計画などの検討を行いたい。あわせて、整備手法について国や県など関係機関と協議していきたい。

## ●高齢者の見守り対策

**議員** 孤独死防止のための本市の取り組みについて伺いたい。

**福祉保健部長** 本市における高齢者の見守り対策としては、民生委員の友愛訪問、緊急時訪問介護事業、配食サービス事業、独居老人等こみ出し援助事業があり、これらの事業を複層的に組み合わせ、安否確認ができない場合などには、関係機関と連携を取りながら見守り支援を進め、孤独死防止につなげていきたい。

## 日本共産党

### ●乳幼児医療

**議員** 乳幼児福祉医療費助成制度の現物給付実施に伴う県補助金の減額への本市の対応について伺いたい。

**市長** 本年4月の乳幼児福祉医療費の現物給付実施に伴い、乳幼児福祉医療費助成制度に係る県補助金と、国民健康保険事業における国の交付金が減額

され、約1億7千万円の負担増が見込まれるが、子育てしやすいまちづくりを目指し実施に踏み切った。本市の取り組みへの理解が得られるように、県へ機会あるごとに要望していきたい。

### ●被爆体験者支援事業

**議員** 被爆体験者支援事業における本市の今後の取り組みについて伺いたい。

**市長** 平成17年度の被爆体験者支援事業の制度改正により、被爆体験の記憶がない場合は対象外とされ、当時幼かった方にとっては厳しい認定基準となった。今後国へ改善要望を行うには、科学的根拠が必要と考えられることから、19年度の新規事業として、18年度に実施した再検査の結果を集計・解析し科学的根拠の検討を行いたい。

### ●伊王島ふれあい運動会

**議員** 伊王島町ふれあい運動会の開催費補助金の継続について伺いたい。

**教育長** 伊王島ふれあい運動会は、合併協定書で、合併後3年をめどに見直すとしている。同運動会は地域の大切な行事であり、平成20年度以降も事業を継続していただきたいが、開催費補助金については、旧市内の各地区との均衡もあり、額の見直しを図る必要があるため、運営の方法や内容等の見直しについて協議、検討していきたい。

### ●不正経理問題

**議員** 不正経理の要因と市長の責任の明確化について伺いたい。

**市長** 不正経理については、内部調査に第三者による外部調査を加え、新設

の契約監察室を中心に徹底して全容解明に努めるなど、厳格に調査を行った結果、今回の不正経理は組織的に行われたものではないと判断した。

これらの結果を受けて、関係した職員の見解や最高責任者である私自身も給与の減額を行ったところである。

### ●米国艦船入港問題

**議員** 米国艦船マスティンの入港問題について伺いたい。

**市長** 長崎県・市の再三の入港回避の要請にもかかわらず、3月1日に同艦船が長崎港に入港したことはまことに遺憾であり、憤りを感じる。非核証明書があれば入港を認める非核神戸方式の導入については、核兵器の搭載がない艦船の入港を認めることになるため、本市としては、今後とも県と入港回避の方策について協議していきたい。

## 社民党

### ●被爆62年目の平和行政

**議員** 平和祈念式典への市内小中高生の参列及び核保有国等代表招請に向けた取り組みについて伺いたい。

**市長** 平和祈念式典への市内小中高生の参列については、被爆60周年を機に、平成17年度は市内全域の市立小中学校の児童生徒に、18年度は国公立・私立も含めた本市の高校・短大・大学の生徒・学生に枠を広げて参加を呼びかけ、約290名に参列をいただいた。被爆者の高齢化が進み、被爆体験継承が急務となっていることから、引き続き多くの

若者に参列を呼びかけていきたい。

また、核保有国等代表者の招請については、18年度は核保有国や軍縮推進国等22カ国の代表者を招請し、計8カ国の代表者に参列をいただいた。今後とも、世界へ広く平和をアピールする観点から、より多くの国から参列していただけるよう検討していきたい。

## 気走会

### ●長崎衛生公社

**議員** 長崎衛生公社の経営健全化について伺いたい。

**環境部長** 長崎衛生公社は本市のし尿処理業務を担ってきたが、公共下水道の進展等により、その経営は急速に悪化している。し尿処理業務が市民生活に密接に関わっていることから、本市はその運営維持に力点を置いてきたが、多額の累積欠損金を抱える現状にある。今後、専門家の意見も聞きながら全庁的な体制で抜本的な改革を図りたい。

## 草の根クラブ

### ●医師等不足問題

**議員** 地域における医師・看護師の確保について伺いたい。

**福祉保健部長** 医師や看護師が大病院や都市部へ偏在するなど、地方の中小病院の医師や看護師の不足が深刻化している。本市においても医師等の確保は地域医療の存続における大変重要な課題であるため、国に対し医師確保対策を推進するよう強く要望しているところであり、さらに、本市における実